

事業所名：地域密着型特別養護老人ホーム なつぼ

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和 8 年 2 月 17 日(火) 14:00 ~15:00

参加者

家族：1名

地域包括支援センター： 1名

事業所：3名

議題 内容

参加者自己紹介、施設長挨拶

議事

施設・運営の状況報告

定員・利用状況の報告

入居者数、入退去数、平均介護度、地域別利用者の内訳。別紙の集計表、地図を参照ください。

職員体制:の報告

常勤・非常勤の配置人数、研修受講状況等。介護情報公表システムでの比較。

活動・行事報告の報告

施設内活動、クリスマス演奏会、新年会を施設全体で実施。

各ユニットでは食事レクレーションを中心に実施。

サービス内容と質の向上

・介護・ケア内容:

1月コロナ罹患者が2名あり。施設療養となっています。

入退去や入院が12月~2月は多くなっています。

ケア内容に大きな変更はありませんが、認知症介護実践リーダー研修の受講が1名終了しました。

・苦情・事故対応:

12月デイサービス送迎中に交通事故あり。運転手他利用者3名乗車中。

怪我はなく、車体左側面に衝突、車両の破損がありました。

・地域連携・開かれた施設づくり

地域活動、包括支援センター様に協働して認知症徘徊探索訓練に職員1名参加。

11月自治会なつぼ1区自治会、なつぼ神社まつり見学(出発点となる)。

1月介護福祉士の研修会にホールを2回貸し出しがありました。

ボランティアではホールを音楽練習で使用されるグループが2つあります。

・がんリボンへの理解

啓発活動として様々な取組がある。がん啓発リボンについても19色になる。

各参加者ご意見等

・物価高による影響は報道等で知るところも多い、病院が閉鎖している現状が身近になっている。高齢者施設も大変な状況にあると思う。

・予防に力を入れている施策が多い、今後の高齢者の増加に対応しなくてはいけない。

・認知症徘徊探索訓練は80名程度集まった。そこまで集まると思わなかった。

関心の高さと危機意識もあると思う。認知症の基礎知識が大切になること、車社会であり、困っている人への声掛けは高中生が現実発見しやすく声かけしやすい、全世代への認知症理解促進が効果的と思った。

・加齢性難聴や補聴器等の理解への取り組みとして研修を開催します。

・地域の他の施設の運営推進会議はどうか?合同でやっているところはない状況。